



「実学仏教」の学び

東北福祉大学
学長 千葉公慈

学長メッセージ

東北福祉大学は、豊かな人間関係を通して人類全体の福祉の理念、すなわちウェルビーイングの実現を目指す学問を探究し、その知識と技術を学修する場です。明治8(1875)年、本学の前身である宮城県曹洞宗専門学支校の創立から歴史を重ねてきた本学は、現在「総合福祉」「共生まちづくり」「教育」「健康科学」の4学部8学科を擁する大学にまで発展を遂げました。

そして令和7(2025)年、学園創立150周年を迎えた本学は、新時代の200周年へ向かい、さらに誇り高き大学へと展開しています。すなわち曹洞宗の教えを教育の理念に掲げて、創立以来のゆるがぬ禅の教えを基盤とする「行学一如」を建学の精神と仰ぎ、真の福祉社会の実現を目指して、これからも時代の要請に応じてゆく所存です。

激変の時代を越えて、これからの曹洞宗寺院はどのような役割を果たしてゆくべきなのでしょうか。

仏教専修科の教育には、その答えがあります。

本課程のすべての学生は、本学のいずれかの学部
に属しながら、それぞれが福祉や教育などの専門
的な資格の取得を目指しており、あわせて仏教の
修学にも励んでいるのです。そして卒業後の将来
は、寺院の住職のみならず、同時に社会福祉士や
公認心理士、あるいは小・中・高等学校教員など
の専門職を活かして、地域をリードする宗侶とな
るべく、夢をもって学んでいます。すなわち、社
会的実践と学問の一体を理想とする「行学一如」
の具現化された学修が、この仏教専修科にはある
のです。私たちはそれを「**実学仏教**」の学びと呼
んでいます。

現代社会における重要な資格やスキルを習得し
ながら、基本的な仏教の知識を身につけ、自利・
利他円満の教えを人生に活かしてゆく—こうした
ウェルビーイング社会を構築する仏教の学び方こ
そ、東北福祉大学仏教専修科の特色なのです。

仏教専修科の一年



4月 開講式



5月 降誕会



8月 施食会法要



9月 両祖忌



10月 達磨忌



12月 臘八接心



12月 成道会



2月 涅槃会



3月 東日本大震災慰霊法要

この他にも、不定期ですが震災ボランティアなどの社会貢献を行ったり、研修旅行に出かけたりと多彩な行事があります。

Q&Aにつきましては、下記QRコードより仏教専修科ホームページで御覧ください。専修科入学方法や入試等の詳細をお聞きになりたい方は、下記QRコードよりメールで個別にご相談ください。



仏教専修科 HP



仏教専修科問い合わせ

東北福祉大学 仏教専修科

〒981-8522 宮城県仙台市青葉区国見1-8-1
TEL: 022-717-3359 (実学臨床教育推進室よりお問い合わせください)
FAX: 022-301-1293
E-mail: bussen@tfu.ac.jp



東北福祉大学 仏教専修科

TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY

東北福祉大学仏教専修科で「実学仏教」を学ぶ —学園創立150周年を超えて—

一人ひとり、思い描くキャリアは異なるでしょう。皆様のキャリアにおける選択肢の一つとして、以下のような特長のある東北福祉大学仏教専修科を是非ともご検討ください。

🌸伝統ある仏教専修科

東北福祉大学の母体である梅檀学園は曹洞宗専門学支校を起源とします。旧制梅檀中学、新制梅檀高校を経て、宗門はもちろん、福祉やスポーツなど、社会で多様に活躍する数多の人材を輩出してきたその伝統は150年を誇ります。



🌸多様な専攻、資格と両立する「実学仏教」

仏教専修科に入り卒業後に僧侶を目指す学生は、宗学や法式作法を学ぶだけでなく、福祉系の資格や各種教員免許、医療・リハビリ系の資格などの資格取得に向けて学ぶことも可能です。社会福祉学科では社会福祉士や精神保健福祉士、介護福祉士（すべて受験資格）、保育士資格。福祉心理学科では公認心理師（大学院進学が必要）、や養護教諭免許状。教育学科では各種教員免許や保育士資格。保健看護学科では看護師や保健師、助産師（すべて受験資格）。医療経営管理学科では救急救命士（受験資格）。リハビリテーション学科では理学療法士や作業療法士（それぞれ受験資格）など、社会に活かせる資格の取得が可能です。各学科・専攻での学びと仏教の学びを両輪とし、寺院運営にもつながる「実学仏教」を目指します（その他、学科ごとの取得可能な資格については、本学ホームページをご覧ください）。

🌸大学設置の仏教専修科ならではの本格的な学び

本学仏教専修科では、仏教や宗学の学術研究者による本格的講義を学べます。また実技も、本山修行経験、指導経験豊富な教員の指導による、実際の法要参加機会に基づくProject Based Learningでしっかりと実践的に学べ、将来の僧堂修行に向けた準備が可能です。

🌸充実した教育施設と機会

本学には本格的な僧堂や法堂があり、実践的に実技を学べます。僧堂では臘八摂心、法堂では朝課も実施しています。学年が上がるにつれ、降誕会など三仏忌法要では配役を担います。さらに大学関連施設での施食会供養や研修旅行など地域や社会に展開した多様な学びの機会があります。

🌸風通しの良いアットホームな雰囲気

在学生や卒業生は仏教専修科の雰囲気の良さを挙げます。少人数教育のため学生と教員の距離が近く、様々な相談や個々のニーズに応じた本格的な学びも実現可能です。仏教専修科は、女子学生も所属することができ、女子学生同士での交流や法要などの各行事へ参加をしています。学生同士和気あいあいと活動し、資格取得のための学びと両立した、メリハリの利いた学生生活を送っています。

曹洞宗寺院徒弟の入学制度について

「仏教専修科で曹洞宗二等教師資格をめざす者」対象の学校推薦型選抜【公募制】があります。曹洞宗得度済み僧籍登録証を出願時に提出ください。詳しくは入学センターまでお問い合わせください。

🌸曹洞宗教師資格の取得について

仏教専修科とは、曹洞宗教育規程に基づき設置された曹洞宗教師資格(寺院住職)取得に繋がる養成機関です。仏教専修科では宗門の教師に必要な①宗乗・余乗の知識、②本宗僧侶としての使命の自覚、③宗門の行持・威儀・作法、を学びます。1～4年の各年次に週3回の講義が追加されますが、各自の時間割と調整して専攻の学びや資格取得、部活動と両立可能になっています。宗制による特殊安居を在学中に3回以上了じ、仏教専修科を修了して大学を卒業すれば、自坊で都合等がある場合は**卒業と同時に二等教師資格を取得**することも可能です。

🌸仏教専修科で学ぶためには？

曹洞宗寺院の子弟・徒弟で、本学通学制4学部8学科か通信教育部の正規の学籍を有する者は仏教専修科に参加できます（申込制）。編入生も参加は可能ですが、カリキュラム上、資格取得には4年間の在籍が必要です。

🌸東北福祉大学 仏教専修科の学びの特長 — 「実学仏教」を学ぶ—

①座学：宗乗・余乗の知識

仏教学が専門の研究者から、大学ならではの高レベルの知識を学年別少人数クラスで学びます。宗旨に関わる仏教典籍や、その他の仏教典籍を学ぶことで本宗僧侶としての自覚を高めます（科目はHP参照）。

②実技：宗門の行持・威儀・作法

本格的な法堂や僧堂を活用して実践的に実技を学びます。着物の着方から、基本進退、法要配役、法要準備なども学べます。朝課もあり、規則正しい生活習慣づくりに配慮しています。4年間継続してしっかりと学ぶことができ、将来の僧堂安居に備えます。

③社会貢献：本宗僧侶としての使命の自覚、実智

仏教専修科では、日々の学びを学外でも実践します。全新入生参加の降誕会など三仏忌等の各種法要への随喜、大学関連施設に出張しての施食会供養、被災地ボランティアなど、多彩な活動を通じて菩提心の実智を学びます。



🌸多様な入学経路

高校新卒以外にも、他大学卒業後に資格取得のために本学へ編入学、社会人を経て入学、本山修行後に通信教育部等に入学など、多様な学生が正科生にはいます。皆様のライフキャリアに沿って、仏教専修科を組み入れていただければと思います。

🌸卒業後について

曹洞宗僧侶を目指す学生の多くは卒業直後に修行道場へ上山しますが、取得した資格等を利用して企業や学校、福祉施設や各種公共団体に就職し、その後に上山する学生もいます。さらには研究活動を行うべく大学院へ進学する学生もおり、卒業生は多方面で活躍しています。

卒業生の声

「求道心を育む



松根大地 老師
産業福祉学科卒
泉岳寺（東京都）住持

小学生より空手に親しみ、学道と空手の両立が出来る学舎を求めておりましたところ、東北福祉大学社会福祉学部産業福祉学科にご縁を頂き、学ばせて頂きました。仏教専修科で仏道を学びながら社会福祉学や空手に打ち込む日々は目まぐるしくもありましたが、非常に充実した学びの場でした。特に宗門でも名だたる老師方が教鞭を執られ、その教えを乞うことができたのは、東北福祉大学ならではの思いです。

また仏教学だけではなく、法学や社会学など様々な知識に触れることができ、実社会で生きる一人の人間としての基礎も学ばせて頂きました。学生時代は一つひとつの学びが点となっていましたが、時を経て線で繋がり、今の自分を形作っていることを実感しております。

私の仏道への求道心はまさに大学4年間の経験から育まれました。学生特有のおおらかさと体力、何でも吸収しようという貪欲さと無鉄砲さを以て猪突猛進していた私が、壁にぶつかり悩み苦しんだ時に多くの老師・先生が手を差し伸べてくださいました。夏休みにご自坊にて坐禅の指導を頂いたり、『正法眼蔵』を共に通読頂いたりと求めるものを求める時に差し出してくださったことは大変有り難く、感謝しております。卒業と同時に仏道の教えを生涯をかけて学んでみたいと大本山永平寺に上山し、求道心を持って修行に励めたのは、在学時の出会いがあったからこそ思っております。

これから学舎を探す皆さんには、ぜひ様々な学問に触れて多くの点と線を会得頂きたいと思っております。お励みください。

「仏教と福祉を学ぶ

幼い頃から師匠である父の読経を聞いて育ち、ゆくゆくは自分も自坊を継ぐことになると考えておりました。中学生の時に福祉の仕事に興味を持ち、高校2年生の時に「仏教も学びたいけど福祉にも興味がある」と相談したところ、東北福祉大学を勧められました。

東北福祉大学では実学臨床教育を特色とする社会福祉学科に所属し、社会福祉士と介護福祉士の国家資格取得に向けて勉強するとともに、仏教専修科にも入りました。福祉の知識や介護の技術を身に付けると同時に、坐禅や法要進退といった本山安居に向けて必要なことも学び、4年間かけて築き上げたことが今の自分に反映されていると実感しています。

卒業後は大本山永平寺にて1年間安居致しました。安居中に自坊から手紙が届き、卒業前に受けた社会福祉士と介護福祉士の試験に両方も合格したという知らせを受け、厳しい修行生活の中で一時の喜びを得られたことを覚えています。秋頃に再度手紙が届き、地元社会福祉協議会の求人が出ていることを知り、修行中の身でありながら就職試験のために他出許可をいただきました。現在は社会福祉協議会で働きつつ自坊にて師匠の補佐をしております。

仏教専修科は、老師・先生方から仏教の基礎や細かな作法等を詳しく・丁寧に学べます。貴重な学生時代に是非とも学びを深めてください。

「在学中の特殊安居とその後の本安居

自坊の事情で卒業直後に教師資格が必要で、また高校時代から福祉全般に興味もあったので特殊安居（1ヶ月の本山修行）が出来る東北福祉大学社会福祉学科に入学し、仏教専修科を選択しました。在学中は、将来住職となった時の寺院防災マニュアル整備等の防災対策、地域における寺院のあり方を念頭に、防災士資格も取得しました。大学1年の春休みに初めて特殊安居に行かせていただきましたが、当時はとても辛かったです。

特殊安居は独特な修行で本安居の人からは「学生のうちに1ヶ月程の修行を行い、また娑婆に戻っての繰り返しは大変じゃないの」とよく言われました。在学中に特殊安居を合計3回経験しましたが、今では貴重な良い経験です。僧侶としての基礎は3回の特殊安居で身につきましたが、それで教師資格も取得可能でした。しかし自坊の事情で1年なら安居できることとなり、もっと修業したかったことから卒業後も總持寺祖院に上山しました。卒業後の本山での安居経験と、東日本大震災時の1週間の停電と3週間の断水を経験で感じたことを踏まえ、今では日常の有り難みをとても強く感じています。

東北福祉大学仏教専修科は仏教を広く学べます。法式の授業があるので、法要もある程度の水準まで学べます。曹洞宗の僧侶として必要な法要知識のインプットとアウトプット両方ができると実感しています。先生との距離がとても密な環境であること、宗門の先生方に質問しやすい環境が整っているのが東北福祉大学仏教専修科の魅力であると感じます。



大川原啓介 宗師
社会福祉学科卒
徳成寺（宮城県）住職